



録画配信の
2次元コード

衣川 千代子

日本共産党

ケヤキ後継木事業／新入曽駅の 利用状況は／入曽駅周辺駐輪場

◆入曽のケヤキ後継木事業

Q 育ったケヤキ後継木の苗木の数と配布と廃棄された数は？また、1本でも多く配布する努力は？

A 都市建設部長 100本程度を管理育成。配布した本数は42本。廃棄した本数は58本。また、十分な周知と申込期間を設け、配布日時に都合が合わない場合は個別に対応した。

◆新入曽駅の利用状況と市民の声

Q エレベーターの出口にインターホンや商業施設側の横断歩道に信号を付ける予定は？

A 都市建設部長 駅員を呼ぶための設備設置は鉄道事業者のオペレーションが生じるものであり、現時点では検討していない。横断歩道について、設計段階から埼玉県警察本部と信号機設置の可否や規制、警戒の表示等について協議を行い決定した。現時点では設置が困難な状況であると認識している。

◆入曽駅周辺自転車駐輪場

Q 旧入曽公民館と入曽駅西口駅前の空き地を自転車駐輪場にする考えは？

A 市民部長 市営自転車駐輪場は、今後の利用実態を把握し、適正規模や管理運営形態等必要な検討を行っていく。

A 都市建設部長 入曽駅西口駅前の空き地

は駅に隣接する好立地な場所のため代替地としての活用を基本に検討していく。現状では自転車駐輪場とする考えはない。



入曽駅東口自転車駐輪場の現状



録画配信の
2次元コード

千葉 良秋

無所属

コンパクトシティ&ネットワーク 長期的視点に立った街づくり

◆目指している都市構造は

Q 集約と集積による都市構造の変革について、少子化や高齢化が進行する中でどのように施策を推進するのか。

A 都市建設部長 医療、福祉、商業などの都市機能の維持・誘導を推進するとともに、公共交通を維持・確保し、拠点間や地域とのネットワークを形成することで、人口密度の維持や市民の生活利便性の向上など、持続可能なまちづくりを推進する。

◆コミュニティの活性とまちづくり

Q 拠点整備にあたり、産業やコミュニティの活性化をはかり、地域経済の継続発展・維持が重要であると考えているが、見解は。

A 都市建設部長 移住・定住の促進による地域経済の活性化が必要であり、本市の立地特性を活かし、産業系などの土地利用転換を進めることで、新たな雇用の創出や都市の活力向上を図ることができると考える。また、各拠点における魅力や生活利便性の向上などを推進するとともに、「誰もが住みやすい・住み続けたい」と思えるような住環境の形成を図り、コミュニティの活性化に繋げる必要があると考える。



中枢拠点とコミュニティの結節

その他のテーマ▶歩いて暮らせるまちづくり